

ユーモラスで遊び心があふれる作風

佐藤 敏

SATO, Satoshi

京都府

1936（昭和 11）年～



佐藤は作陶の常識を打ち破る自由奔放な造形表現で、日本の現代陶芸をリードしてきた作家です。彼の作陶に認められる特性は、ユーモラスで遊び心があふれた作風にあるといえるでしょう。大胆に指痕を残した凸凹陶や、鮮やかな色彩と転写紙の組み合わせた装飾、そして金属部品のアッサンブラージュなど…。そこには驚きと感動へのあくなき探求心が認められます。そうした一面は、うつわから大物造りまで幅広い仕事に発揮されています。